

## 目次

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| P1. 第27回理事会を開催   | P5. 財団役員、評議員、選考委員 |
| P2. 2021年度助成対象一覧 | P6. KRFからのお知らせ    |

## 1 第27回理事会を開催

2021年12月7日（火）関電会館において、第27回理事会を開催し、次の議案を審議のうえ、以下のとおり決定しました。

### 試験研究助成の助成対象を決定

2021年度試験研究助成には、大学、高等専門学校、計19校から45件の応募を頂戴しました。選考委員会における選考を経て、理事会での審議の結果、2021年度の助成対象として、20件、助成金総額19,350千円を決定しました。

エネルギー・リサイクル分野は、光・振動・熱等のエネルギー変換・貯蔵技術開発、電池材料や水素発生に関する開発、デバイス開発の効率向上、配電系統解析技術等、16件（15,500千円）です。

総合防災科学分野は、防災や電力負荷モデルの効率性と公平性の最適化モデル構築、災害時の企業生産活動影響予測、土圧測定センサや災害時人定システム開発の4件（3,850千円）です。

2021年度の助成事業としては、既に助成を決定している国際交流活動助成他を合わせ、助成件数29件、助成金総額20,612千円となります（応募総数は59件）。財団設立以降30年間の助成金総額は、約10億1,676万円となります。

今回決定した試験研究助成対象の20件の皆さまに対し、2022年3月7日（月）に第30回助成金贈呈式を開催いたします。

### 2022年度助成事業計画を決定

2022年度助成事業募集では、応募資格に年齢制限を設けません。ただし、若手研究者（概ね40歳以下）および研究歴の短い研究者（概ね研究歴10年未満）を主要助成対象として実施します。

2022年度の助成規模は、助成件数 42件、助成金総額 20,000千円です。

新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、国際交流活動助成（研究者海外渡航）および研究発表会等の開催助成では、2022年度も引き続き、オンライン等で開催の国際会議等についても助成対象とします。

申込は、電子申請システムをご利用ください（併せて紙ベースでの応募も受け付けます）。

詳しい助成内容、応募要領等は、財団ホームページ（<https://www.krf.or.jp/>）をご覧ください。

### 次期選考委員を決定

2022、23年度の選考委員8名を決定しました。詳細は、5ページをご覧ください。

## 2 2021年度助成対象一覧

2021年度の助成総計は、29件、20,612千円です。

### 1. エネルギー・リサイクル分野（23件：16,262千円）

#### (1) 試験研究助成（16件：15,500千円）

(単位：千円)

研究者	研究題目	助成額
朝日 重雄 神戸大学工学研究科 電気電子工学専攻 助教	シリコンとペロブスカイトを用いた アップコンバージョン太陽電池の基礎検証	1,000
稲本 純一 兵庫県立大学工学研究科 応用化学専攻 助教	Li <sub>2</sub> MnO <sub>3</sub> 被覆によるLiNi <sub>0.5</sub> Mn <sub>1.5</sub> O <sub>4</sub> 薄膜正極の 表面劣化抑制の検討	960
岡崎 豊 京都大学大学院エネルギー科学研究科 国際先端エネルギー科学研究教育センター 助教	半導体ナノロッド配列技術に基づく 高純度円偏光コンバータの創成	960
加藤 匠 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 助教	省エネルギー照明光の二次的利用を可能にする 蓄光材料の開発	1,000
鹿又 喬平 大阪大学大学院薬学研究科 特任助教	再生可能な樹木セルロースの新奇用途開拓による キラル分子合成	960
栗山 怜子 京都大学大学院工学研究科 機械理工学専攻 助教	力に応答する機能性蛍光分子を利用した 流れ場中の応力分布計測法の開発	1,000
重信 颯人 福井大学 学術研究院工学系部門電気電子工学講座 助教	電力レジリエンス強化のための両面受光型太陽光 発電システム垂直設置の効果検証	950
杉目 恒志 近畿大学理工学部応用化学科 講師	導電性基板上的カーボンナノチューブフォレスト 成長・機能制御と電気化学触媒応用	960
田部 博康 京都大学 高等研究院物質-細胞統合システム拠点 特定講師	新規伝導性材料を利用した触媒系によるCO <sub>2</sub> 還元	1,000
福永 崇平 大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 助教	デジタルゲートドライバによるパワエレ機器の オンライン制御	1,000
毎田 修 大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 助教	ダイヤモンド半導体結晶の非輻射欠陥生成機構の 解明とデバイス特性改善	930
松本 直浩 兵庫県立大学工学研究科 機械工学専攻 助教	低環境負荷・低摩耗・低摩擦な全く新しい 銅内包黒鉛微粒子の合成	950

研究者	研究題目	助成額
南 政孝 神戸市立工業高等専門学校 電気工学科 准教授	長寿命化を目指したモータ駆動の損失均一化を実現する二相PWM法に関する研究	950
三宅 浩史 大阪大学基礎工学研究科 物質創成専攻 助教	化学気相成長法と層状複水酸化物を用いた水素発生反応触媒の開発	960
藪塚 武史 京都大学大学院エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 講師	環境調和型セラミックスと軽金属の融合による高機能性生体シグナル応答デバイスの開拓	960
山本 真人 関西大学 システム理工学部物理・応用物理学科 准教授	二次元物質酸化膜を利用した超低消費電力抵抗変化メモリの創出	960

## (2) 第2回研究成果の出版助成 (2件: 141千円)

(単位: 千円)

研究者	投稿論文名	投稿出版本	助成額
上地 宏 大阪学院大学商学部理論物理学 教授	熱力学的整合性と非平衡不可逆過程、円盤電磁誘導による熱電変換機関の研究	Journal of Applied Mathematics and Physics	41
三瓶 明希夫 京都工芸繊維大学電気電子工学系 准教授	データ同化手法を基にしたプラズマ平衡再構成法	IEEE Access	100

## (3) 第2回研究発表会等の開催助成 (1件: 400千円)

(単位: 千円)

研究者	会議名称	助成額
野々口 斐之 京都工芸繊維大学 材料化学系 准教授	薄膜材料デバイス研究会 第18回研究集会	400

※第1回国際交流活動等の助成対象(4件、221千円)は、KRFレポートNo.36(2021年4月)掲載のとおりですが、国際交流活動(渡航)で、新型コロナウイルス感染症の影響で45千円の返金がありました。  
 ※第2回研究成果の出版助成では、この他1件100千円の採択が決定しましたが、掲載費用不要となり辞退の申し出がありました。

## 2. 総合防災科学分野（6件：4,350千円）

### （1）試験研究助成（4件：3,850千円）

（単位：千円）

研究者	研究題目	助成額
井上 寛康 兵庫県立大学大学院情報科学研究科 准教授	災害が与える経済への影響の 網羅的サプライチェーンを用いた推計	930
榎本 明史 近畿大学病院歯科口腔外科 准教授	歯科パノラマX線画像と人工知能による 自然災害時の身元不明遺体の人定システム開発	960
坂井 勝哉 大阪大学大学院工学研究科 モビリティシステム共同研究講座 特任講師	大規模災害発生後のインフラネットワーク復旧に 関する公平性を担保した最適化	1,000
澤村 康生 京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻 准教授	補強土壁の耐震性評価に資する 土圧計測システムの構築	960

### （2）第2回研究成果の出版助成（1件：100千円）

（単位：千円）

研究者	投稿論文名	投稿出版本	助成額
立部 知保里 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 減災復興政策専攻	Possible roles of People's Organization for post-disaster community recovery: A case study on recovery process after Philippine Typhoon Yolanda	Progress in Disaster Science	100

※第1回国際交流活動等の助成対象（2件、900千円）は、KRFレポートNo.36（2021年4月）掲載のとおり  
ですが、助成金交付決定後、新型コロナウイルス感染症の影響で、国際交流活動（招聘）で、1件、500千円  
の辞退の申し出がありました。

### □過去の助成実績

年度	試験研究助成		国際交流活動助成		研究成果の出版助成		研究発表会等の開催助成	
	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野
1992年度～ 2011年度	324	111	273	26	40	1	127	18
2012年度	20	4	10	1	0	0	4	1
2013年度	18	3	4	1	0	0	3	1
2014年度	18	3	7	0	休止	休止	休止	休止
2015年度	21	4	16	2	休止	休止	休止	休止
2016年度	18	4	11	0	1	0	5	1
2017年度	18	2	5	0	1	0	2	0
2018年度	16	1	11	2	1	0	7	0
2019年度	15	4	9	3	0	1	5	1
2020年度	20	3	0	0	1	0	1	0
2021年度	16	4	1	0	5	1	1	1
合計	504件	143件	347件	35件	49件	3件	155件	23件

※総合防災科学分野は、1995年度から助成開始

### 3 財団役員、評議員、選考委員 (2022年1月1日現在)

#### ■代表理事

稲田 浩二 関西電力株式会社 取締役 代表執行役副社長

#### ■業務執行理事

枚田 哲郎 当財団 事務局長 ※

#### ■理事

伊藤 順司 住友電気工業株式会社 顧問・シニアフェロー

大澤 靖治 京都大学 名誉教授

辻 毅一郎 大阪大学 名誉教授

手塚 哲央 京都大学 名誉教授

長谷川友安 一般財団法人大阪科学技術センター 専務理事

#### ■監事

川下 清 弁護士

中西 清 公認会計士

#### ■評議員

池島 賢治 大阪ガス株式会社 参与

近藤 泰正 株式会社竹中工務店 専務執行役員

高西 一光 関西電力株式会社 執行役常務

田中 健一 三菱電機株式会社 開発本部技術統轄

西 亨 株式会社阪南コーポレーション 副社長

鱧谷 貴 公益財団法人大阪コミュニティ財団 専務理事

藤岡 直人 関西電力株式会社 研究開発室長

#### ■選考委員

##### 【エネルギー・リサイクル分野】

北村 新三 神戸大学 名誉教授 (委員長)

久保 司郎 大阪大学 名誉教授

辰巳砂 昌弘 大阪府立大学 学長

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授

八尾 健 京都大学 名誉教授

吉川 潔 京都大学 名誉教授

##### 【総合防災科学分野】

北村 新三 神戸大学 名誉教授 (委員長)

河田 恵昭 京都大学 名誉教授

林 春男 京都大学 名誉教授

(敬称略、※は常勤者)

## KRFからのお知らせ

### 2022年度 助成事業の概要

主として関西地域におけるエネルギー・リサイクル関係技術分野および総合防災科学分野に関する試験研究等に対する助成を行っています。

2022年度の助成事業募集内容（1月6日募集開始）は下表の通りです。

助成規模は、助成件数 42件、総額 20,000千円となっております。

当財団では、応募資格に年齢制限はありません [ただし、若手研究者（概ね40歳以下）および研究歴の短い研究者（概ね研究歴10年未満）を主要助成対象とします]。

国際交流活動助成（研究者海外渡航）および研究発表会等の開催助成では、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、2022年度は引き続き、オンライン等で開催の国際会議等についても助成対象とします。

皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。

#### ■ 助成種類毎の助成件数

助成種類	試験研究助成	国際交流活動助成		研究成果の出版助成	研究発表会等の開催助成
		研究者海外渡航	海外研究者招聘		
一件あたりの助成額	100万円以下	20万円以下	50万円以下	10万円以下	40万円以下
助成件数	エネルギー・リサイクル分野	11件	10件	7件	3件
	総合防災科学分野	3件	2件	3件	1件
申込締切日	2022年8月31日(水)	第1回：2022年2月28日(月) 第2回：2022年7月29日(金)	第1回：2022年2月28日(月) 第2回：2022年7月29日(金)	第1回：2022年2月28日(月) 第2回：2022年7月29日(金)	第1回：2022年2月28日(月) 第2回：2022年7月29日(金)

詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.krf.or.jp/>

#### ■ 申込方法

ホームページより、研究者登録のうえ応募書類をダウンロードし電子申請にてお申し込みください。書面によるお申込をご希望の方は、申込書に必要事項を記入の上、1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

#### ■ 応募要領、申込用紙（書面によるお申込をご希望の方）のご請求は事務局まで

インターネットからも請求可

<https://www.krf.or.jp/application>

E-メールアドレス

[info@krf.or.jp](mailto:info@krf.or.jp)

TEL 06-7506-9068 FAX 06-7506-9069 担当：八木 (yagi@krf.or.jp)

#### ■ 事務局より

おかげさまで2021年度も皆さまから多くのご応募を頂き、助成活動を実施することができました。心より御礼申し上げます。2022年3月7日（月）13：30～16：00に第30回助成金贈呈式と過年度助成を受けた研究者による**助成研究発表会**を予定しています。詳しくはホームページ（<https://www.krf.or.jp/>）に申込方法など随時更新しますのでご覧ください。2022年度助成事業は、1月6日（木）に募集を開始します。皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。